

# ぐるり39

～自治調査会だより～

2013  
10

NO. 001

[発行日]  
2013.10.01

創刊号



- ▶ 機関紙「ぐるり39」の発行に寄せて ..... 2
- ▶ シリーズ 島しょ地域の魅力を紹介！
  - 第5回三宅村 ..... 3
- ▶ 多摩地域ごみ実態調査(平成24年度統計) ..... 8
- ▶ 愛らんどリーグ2013が開催されました ..... 10
- ▶ 多摩交流センターだより
  - ・平成25年度広域的市民ネットワーク活動支援制度申請団体募集 ..... 11
  - ・はやぶさ特別講演と映画鑑賞 ..... 12
  - ・多摩発・遠隔生涯学習講座 ..... 13

- ・東京雑学大学講義案内 ..... 13
- ・TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ ..... 14
- ・多摩交流センターとは ..... 14
- ▶ 編集後記 ..... 15
- ▶ とっておき特産物 第29回 稲城市 ..... 16

Content

10月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

# ～ 機関紙「ぐるり39」の発行に寄せて～



皆さん、こんにちは。

当調査会の理事長を務めております、青梅市長の竹内でございます。日頃から、私ども調査会の事業にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

さて、この度、当調査会では、機関紙をリニューアルし、今月号から新たに「ぐるり39」と名称を変えて発行することといたしました。

当調査会は、これまで、主に市町村職員向けに「What's New?」と題する機関紙を、また、主に多摩地域の一般市民向けに「多摩のかけはし」と題する機関紙を、それぞれ発行してきました。

「What's New?」は、当調査会が設立された翌年、昭和62年の8月に、当調査会の活動状況などをお知らせするニュース・レターとして第1号が発行され、以来、26年間にわたりほぼ毎月発行し、調査研究をはじめとする各種事業や行政の動きなどの情報を提供してきました。そして、この9月1日発行号をもって、通算301号を数えました。

一方、「多摩のかけはし」は、多摩東京移管100周年を記念して行われた「TAMAらいふ21」の事業成果を継承するため、平成6年に設置された多摩交流センターの“交流センターだより”として、同年9月に創刊号が発行されました。以来、19年間にわたり交流センター事業や多摩地域の市民交流に関する情報を提供してきました。こちらは当初、年4回発行の季刊扱いでいたが、翌年から隔月発行となり、この8月号で、通算115号を数えました。

このように、それぞれ歴史のある両紙ですが、平成24年4月に当調査会が公益財団法人に移行したことを契機に、「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与」するという公益の趣旨にかんがみ、より広く一般に分かりやすく、効果的かつ効率的な情報発信を行っていくことを企図し、両紙の一本化を検討してまいりました。

そして、今回、対象を「市町村職員も含めた多摩・島しょ地域の一般市民」とし、両者を統合する形で新たな機関紙を発行することとし、名称を「ぐるり39」といたしました。この名称には、多摩・島しょ地域の39市町村をぐるりと巡って見渡し、地域全体の連携や活性化を図っていこうという意味が込められています。「ぐるりサンキュー」と呼んでいただいても良いかと思います。

この「ぐるり39」は毎月発行とし、表紙には、新たに公募によって皆さんからお寄せいただいた、多摩・島しょ地域にまつわる写真等の作品を使わせていただく予定としております。また、これまでにもまして内容の充実に努め、分かりやすく有用な情報を提供していきたいと考えておりますので、これまでの「What's New?」や「多摩のかけはし」と同様、ぜひともこの「ぐるり39」をお手に取って読んでいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年10月

公益財団法人 東京市町村自治調査会

理事長

竹内俊夫

# シリーズ 島しょ地域の魅力を紹介!

## 第5回 三宅村

これまで自治調査会では、東京の島しょ地域の魅力をお伝えするため、シリーズで島しょ地域における、まちの取り組みや観光資源、役場の概要、職員の方へのインタビューなどを機関紙「What's New?」に掲載してきました。

新機関紙“ぐるり39”でも、引き続き特集として島しょ地域の町村の紹介をしていきます。今回は、三宅村の特集です。

※シリーズ島しょ地域の魅力を紹介!第1回大島町、第2回御藏島村、第3回神津島村、第4回利島村の特集は、自治調査会ホームページ(What's New? 294号、295号、299号、301号)でご覧いただくことができます。

三宅島は、東京都心から南南西に約180kmの海上に浮かぶ島です。

三宅島へアクセスする方法は、航路(大型客船)と空路(飛行機とヘリコプター)の3つあります。航路では、竹芝桟橋から大型客船が1日1往復しており、空路は、羽田空港からの全日空便が1日1往復しています。

多くの方が利用する大型客船は、夜間に竹芝桟橋を出発し、翌日早朝には三宅島の港に到着します。約6時間半の航海ですが、お台場の夜景に見送られながら客船内で仮眠をとれば、朝焼けとともに三宅島に到着します。



▲かめりあ丸



▲竹芝桟橋出発後の夜景

### ■東京島しょ地域の概要



### より身近な三宅島に

平成26年4月、調布飛行場(調布市)から1日3往復の予定で空路が新設されます。多摩地域からは、これまで以上に三宅島が身近な存在になります。

また航路も、平成26年7月に大型化されたハイブリッド船「橘丸」<sup>たちばな</sup>が就航予定です。便利になる空の旅だけでなく、海の旅もより快適になるのではないかでしょうか。

### 沈静化する火山ガスの影響

皆さんの記憶にも新しいと思いますが、三宅島の中央、雄山(おやま)で平成12年(2000年)に大規模な噴火がありました。

噴火の影響により火山ガスが発生し、これまで島内ではガスマスクの携行が義務付けられていましたが、平成25年7月からはガスマスク携行の義務付けもなくなり、また規制区域の一部解除も行われるなど、以前と比べて火山ガスの放出量が減少してきています。

～真っ青な太平洋に囲まれた天然記念物の住む三宅島～

# 三宅村



**MIYAKEMURA**

## 三宅島とは？

三宅島は、東京都心から南南西に約180kmの海上に浮かぶ島です。伊豆諸島では、伊豆大島、八丈島に次いで3番目に大きな島で、ちょうど、山手線の内側ほどの大きさです。

島の中央には雄山があり、噴火によって形成された独特な景観や、国指定の天然記念物「アカコッコ」などの野鳥が生息する森などの特色ある自然と、人々の生活とが共存しています。

周囲を流れる黒潮の影響により温暖多雨な気候で、年間降水量は東京都心の約2倍の約3,000mmです。気温は最高気温が30℃以上の日が年間平均約12.7日、最低気温が氷点下になる日はほとんど無く、夏は涼しく、冬は暖かい、過ごしやすい気候です。

## 島の見所①(黒潮の海)

黒潮の影響を受ける三宅島周辺の海には、世界最北限のテーブルサンゴの群生が見られるほか、熱帯魚、大型の回遊魚、ウミガメなどが生息しており、広大な海の恵みを実感することができます。

### 釣り

三宅島周辺の海は、イシダイやメジナ、ヒラマサ、カンパチなど魚種の宝庫です。

断崖絶壁からの磯釣りや船釣りが楽しめ、釣り客のリピーターがたくさんいます。特に、三本岳と呼ばれる大野原島（おおのはらじま）は、憧れの大物に会える絶好のポイントとなっており、釣り人ならば一度は行きたい聖地です。



▲釣り人憧れの三本岳



### シュノーケリング

三宅島の豊かな海では、タンクを背負ったスクーバダイビングでなくても、シュノーケリングで少し潜ればきらびやかな熱帯魚に出会うことができます。

天然のタイドプール（潮だまり）になっている長太郎池（ちょうたろういけ）

や伊ケ谷（いがや）港の大船戸海水浴場は波も小さく、子どもでも安心してシュノーケリング楽しむことができます。天候によっては10月でもシュノーケリングを楽しむことができるそうです。

※長太郎池は、平成12年の噴火の影響で水位が上がったため、満潮時には注意が必要です。



▲海中の魚



▲天然のタイドプール長太郎池

※海のレジャーを楽しむ際は、ライフジャケットを着用するなど、安全に配慮してください。

## 島の概要(平成25年4月1日現在)

- \*位 置 都心から南南西に約180km
- \*面 積 55.5km<sup>2</sup>(周囲約38km)
- \*人 口 2,722人 世帯数 1,695世帯
- \*歴 史 多くの伝説や神話が残っており、物語「三宅記」によると、その歴史は古く、中世以前に開村された島であるといわれています。また伊豆諸島にある24の式内社(しきないしや)のうち12社が三宅島にあります。

## 島の見所②(火山遺跡)

三宅島は、富士火山帯に属する火山島で、近年では平成12年(2000年)、その前は昭和58年(1983年)、昭和37年(1962年)、昭和15年(1940年)と、約20年周期で噴火を続けています。

噴火の痕跡は島内各所で見ることができ、噴火によってできた迫力ある景観は圧倒されるものがあります。島全体がまるで火山博物館のようです。

平成12年の噴火後、一時全島避難を余儀なくされました。しかし、固まった溶岩からも新たな草が芽吹いて再生していくように、島民の生活も噴火からの再生復興を続けています。



### ◀ひょうたん山

昭和15年の噴火で一夜にしてできた山で、「新東京百景」にもなっています。



### ふるさとの湯 ▶

火山の恩恵を肌で感じることができます。源泉かけ流しの温泉で太平洋に沈む夕日を眺めることができます。

## シリーズ 島しょ地域の魅力を紹介!

### 第5回<三宅村>

#### \*アクセス(船または飛行機)

- ・航路 竹芝桟橋→三宅島 <東海汽船株式会社>  
「かめりあ丸」(約6時間30分)
- ・空路 (直通)羽田空港→三宅島空港<ANA>(約45分)  
(伊豆大島経由)調布飛行場→伊豆大島<新中央航空株式会社>(約25分)→三宅島<東邦航空株式会社(ヘリコプター)>(約20分)



▲広大な溶岩の中を歩くことができます

### ▲火山体験遊歩道

昭和58年の噴火の際に流れ出した溶岩流の上に遊歩道が敷かれ、自然の驚異を肌で感じることができます。ここでは、溶岩に飲み込まれた小中学校を、そのままの姿で見ることができます。



### ◀椎取(しいとり)神社

平成12年の噴火の泥流で埋まってしまった神社の鳥居です。13年の月日を経て、周辺の木々は青々と成長し、ここでも再生する自然の力強さを感じることができます。

## 三宅島に大学!?



三宅島大学



三宅島大学は、島全体を“大学”に見立て様々な学びの場を提供する仕組みです。学校教育法の大学とは異なりますが、講座やプログラム、課外活動を通じて、人々が出会い、語らう“大学”です。

これまで「三宅島ネイチャーウォーク」や「島初心者のためのとておきの島歩き」などの講座が開催されています。

※ 詳細は、三宅村役場総務課庶務係

(三宅島大学プロジェクト実行委員会)へ 電話: 04994-5-0981

島でまなび、島でおしえ、島をかんがえる。

## 島の見所③(鳥の観察)

三宅島は別名バードアイランドと呼ばれ、約250種類の野鳥が住んでいると言われています。国の天然記念物で絶滅危惧種であるアカコッコやカラスバト、イイジマムシクイなど、限られた地域でしか見られない野鳥を観察することができます。特に、野鳥の生息密度が高い「大路池(たいろいけ)」は、探鳥ポイントの一つになっています。

大路池に隣接するアカコッコ館にはレンジャーが常駐し、館内にはバードウォッチングができる部屋があり、近くの水辺に集まる野鳥を直接観察することもできます。また、三宅島の自然や火山についても知ることができます。



▲アカコッコ館の展示



▲アカコッコ館で野鳥観察



▲たくさんの野鳥が生息する大路池

### アカコッコ

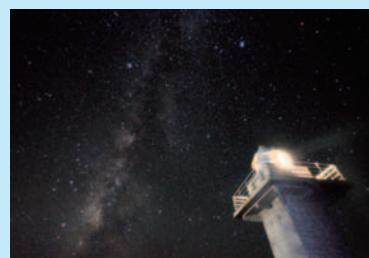


アカコッコは、国の天然記念物に指定されている三宅村の村鳥です。生息地域は伊豆諸島と鹿児島のトカラ列島、長崎県の男女群島のみで、日本の島にしか生息していません。

ツグミの仲間でスズメの倍くらいの大きさの鳥です。赤いおなかと黒い顔がポイントです。三宅島では、森林や畠、民家周辺など様々な場所で見ることができます。

## これぞ絶景! フォトコンテストにチャレンジ!

自然豊かな三宅島では、海・山・火山など様々な景色が楽しめます。そのなかでも、伊豆岬でみる星空や、11月と5月の数日間しか見ることのできない海上に浮かぶ三本岳の夕日は絶景です。



▲前回の総合グランプリの  
「恋人たちの道しるべ」

三宅島観光協会では、フォトコンテストを行っており、三宅島の様々な景色を収めた写真を募集しています。今年度は、10月31日(木)まで募集しています。

## 期間限定! 禁断のダイビングポイント!



▲多くのダイバーを魅了するメガネ岩付近の海中アーチ

メガネ岩は巨大なアーチがそびえたつ圧巻のダイビングスポットです。年間で主に6月と10月の限られた日しか潜れません。そのため、魚影の濃さは折り紙つきと言われています。

## 三宅島を 深く楽しく周遊するには!?

### 三宅島観光ガイドを利用しよう!

三宅島観光協会では、三宅島での観光をより楽しんでもらえるよう、比較的手ごろな価格での島内観光ガイドツアーを行っています。所要時間は2~3時間ですので、帰る日の午前中や大型客船の出発時間まで島での滞在をより思い出深いものにできるかもしれません。



三宅島役所(史跡)

### 観光ガイドコース(例)

- ①火山の脅威や火山が作り出した景観をめぐるコース
  - ②島の文化・歴史をめぐるコース
  - ③お土産・工場見学コースなど
- 全8コースあります。島の人間に直接お話を聞きながら、観光してみてはいかがでしょうか。



メガネ岩

\*フォトコンテスト、メガネ岩ダイビング、三宅島観光ガイドの申込方法などの詳細は、三宅島観光協会へ  
電話: 04994-5-1144  
<http://www.miyakejima.gr.jp/>

## 三宅村役場(平成25年4月1日現在)

所在地 〒100-1212  
 (仮庁舎) 東京都三宅島三宅村阿古497  
 町長 櫻田 昭正(さくらだ あきまさ)  
 職員数 118人  
 財政 決算収支(普通会計)(平成24年度)  
 歳入:3,825百万円 歳出:3,675百万円  
 主産業 観光業、漁業、農業  
 主要施策 

- ・三宅島の将来を担う人材の育成
- ・空路・海路の改善・確保
- ・人工透析の早期導入
- ・後継者の確保と人口増加対策

### 三宅島の特産

#### 牛乳せんべい

甘さを抑えた味とサクサクした食感で原料はシンプルに牛乳、バター、小麦粉、卵、砂糖だけなので、素材の味が生かされています。親子で40年以上にわたって作られ、島の人にも長年親しまれています。



#### あしたば炊きこみごはんの素

三宅島で採れたあしたばを利用した品です。「あしたば炊きこみごはんの素」を加え、普通にご飯を炊く要領で炊きこむのみです。醤油の香ばしいにおいと明日葉の香りが食欲をそそります。少し甘めでおにぎりにしてもおいしいです。皇室への献上品にもなったことがあるそうです。



### 役場職員インタビュー



三宅村観光産業課観光商工係  
 たかはし あきお  
 高橋 明夫さん

平成23年入庁。現在は観光産業課で観光施策や商工業の振興に携わっている。

#### 三宅島は高橋さんにとってどんな島ですか?

私は多摩地域で生まれ育ち、三宅村に入庁しましたが、島外出身の私にも職場の人や地域の人が気遣ってくれて、暖かく接してくれます。

役場で働く若手職員は本州出身者が多く、島外から来た人も暮らしやすい島です。

## シリーズ 島しょ地域の魅力を紹介!

### 第5回<三宅村>



▲櫻田昭正村長



▲村役場仮庁舎外観

### 三宅島の地酒 雄山一

三宅島の水は麹づくりに最適と評されることがあります。「ご褒美焼酎雄山一(おやまいち)」は、マイルドな味と香りの焼酎で、ミシュラン2つ星の日本料理店の酒蔵にも選ばされました。また、パッケージは、世界的有名な山本寛斎氏がデザインしました。



### 三宅村の若者活躍中!!

#### Project team・3PLAY

三宅村では、様々な分野から次代を担う村在住の若者14名が集い、それぞれの視点から村の未来について考え、「村おこし」を進める、「プロジェクトチーム・スリープレイ」が平成25年に結成されました。

毎月会議を行い、その結果は村長に報告されるほか、自ら実施主体となっていわゆる“島コン”など様々な村おこし事業の企画を行います。

※島コン…島で男女が出会いを求めて行うコンパまたは婚活

#### 島内のおすすめの場所はどこですか?

火山体験遊歩道がおすすめです。溶岩の上を歩くことができます。そこは集落が飲み込まれた地域で、住宅の上に溶岩があり、溶岩流が流れた込んだ学校もあります。実際に足を運んで、自然のすごさを実感してください！

#### 三宅島を訪れる方へメッセージをお願いします!

雄大な自然、青い海、火山のパワーを体験できる島です。シュノーケリングなどの比較的手軽な方法で、色鮮やかな魚やテーブルサンゴを見ることができます。南の海を体験できます。

また、噴火の跡はこの三宅島でしか見られないスポットがたくさんあります。写真ではわからない、想像を超える自然の迫力を、ぜひ島に来て体験してください。皆さんの来島を心よりお待ちしております。

取材協力・写真提供／三宅村・三宅島観光協会・三宅島酒造株式会社

# 多摩地域ごみ実態調査(平成24年度統計)

自治調査会では、毎年多摩地域30市町村のごみ処理実績などをまとめ、「多摩地域ごみ実態調査」として発刊しています。

このたび、平成24年度統計ができあがり、平成25年8月に発行しましたので紹介します。

- ・「多摩地域ごみ実態調査(平成24年度統計)」全54ページ
- ・「多摩地域ごみ実態調査(平成24年度統計 概要版)」全18ページ

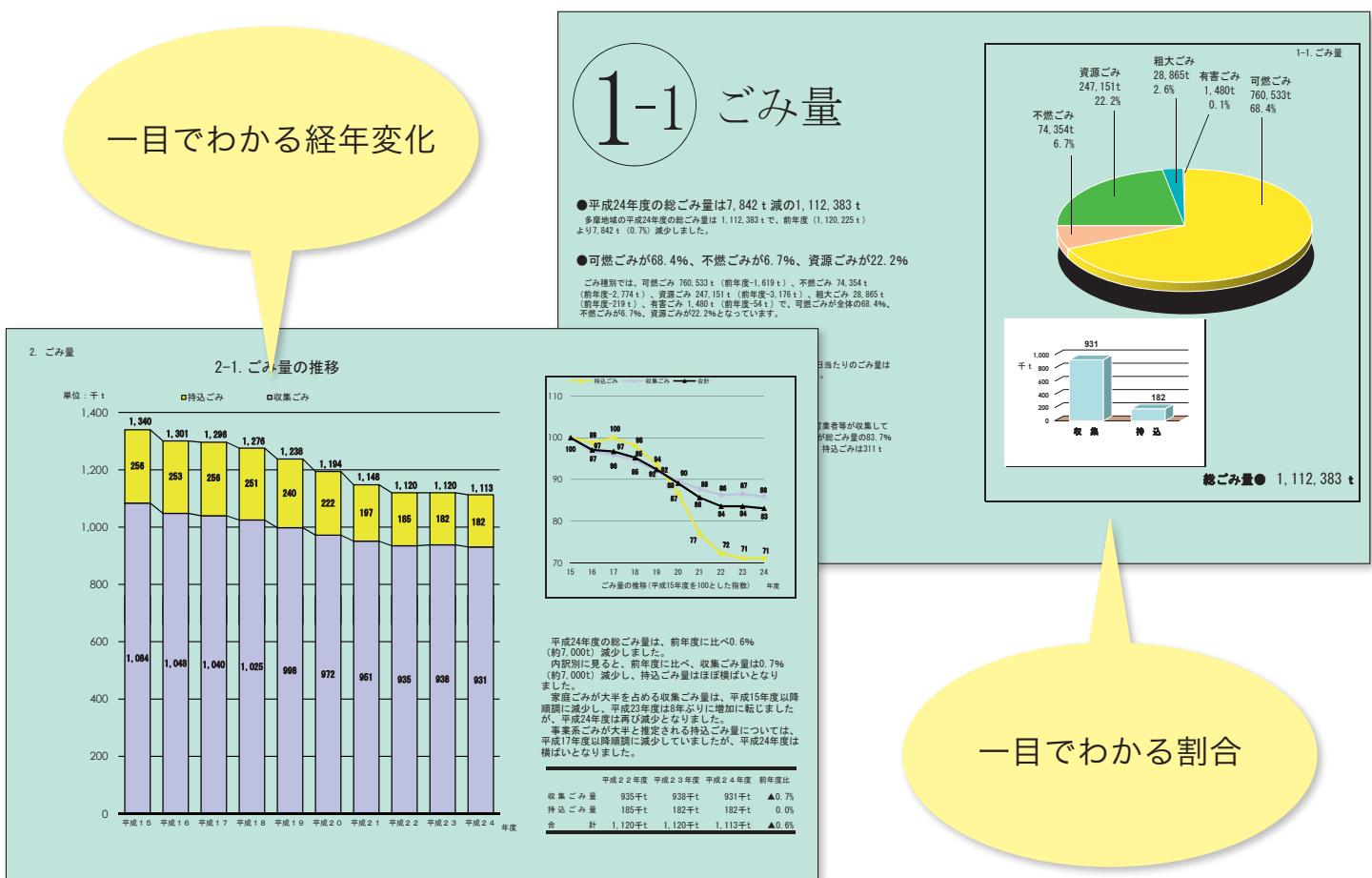
本報告書は、自治調査会のホームページ  
(<http://www.tama-100.or.jp/>) の [調査研究]  
からダウンロードすることができます。



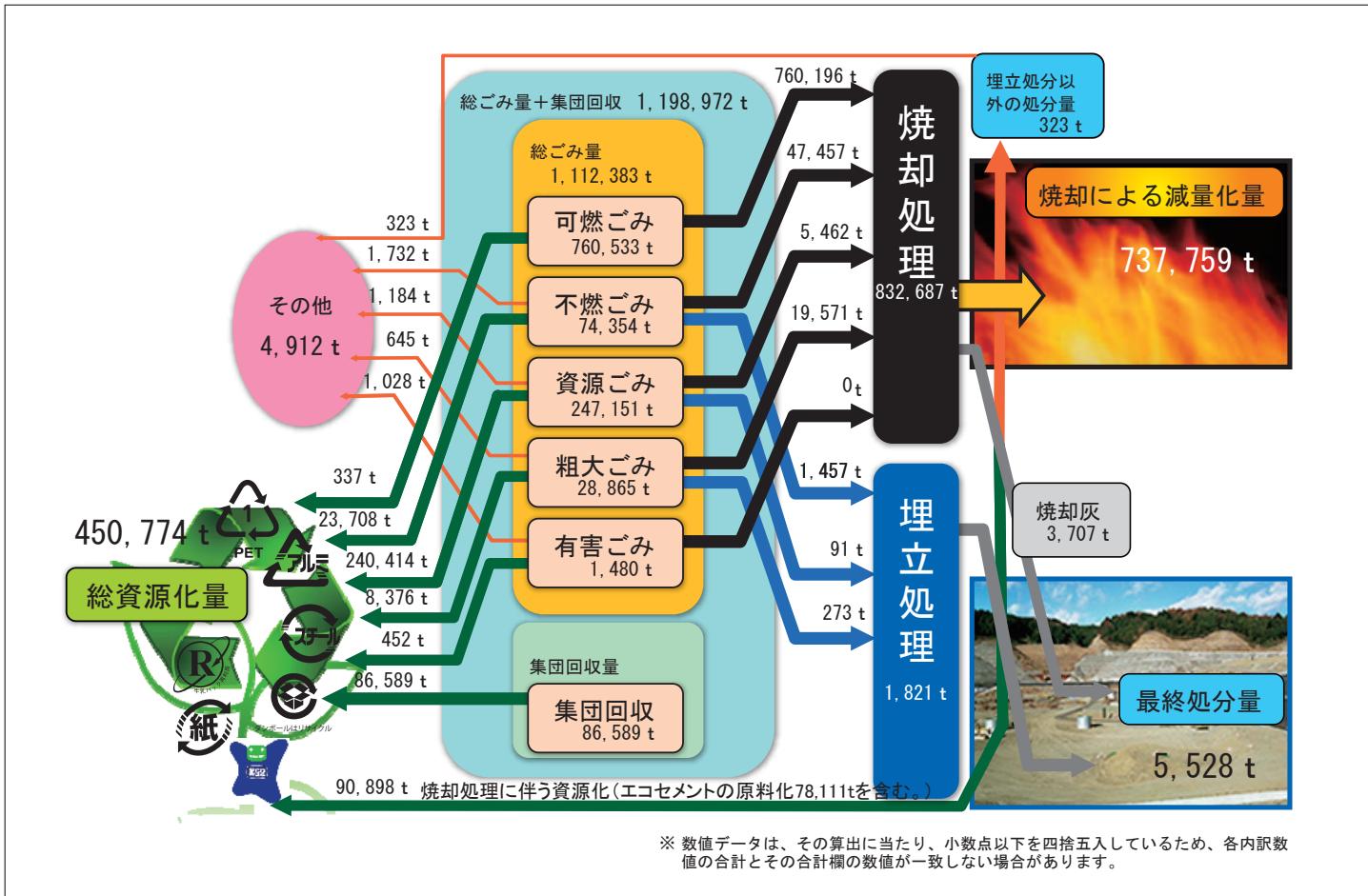
なお、以前の報告書(平成14年度～平成23年度統計)についても、ホームページからダウンロードすることができます。ぜひご活用ください。



## 【報告書イメージ】



## 【実態調査の概要】



### (1) ごみ量（収集ごみ量及び持込みごみ量）

平成24年度のごみ量は1,112,383tとなり、前年度に比べ、0.7% (7,842t) 減少しました。内訳別では、家庭ごみが大半を占める収集ごみ量が0.8% (7,530t) 減少し、ほとんどが事業系ごみと見られる持込みごみ量も0.2% (311t) 減少しました。収集ごみ量を項目別に見ると、可燃ごみが0.3% (約2,000t)、不燃ごみが4.1% (約3,000t)、資源ごみが1.2% (約3,000t) 前年度と比べ減少しました。

平成24年度の1人1日当たりのごみ量(集団回収量を含む。)は791gとなり、前年度に比べ0.6% (5g) 減少しました。

### (2) ごみの資源化

平成24年度の【注】総資源化率(リサイクル率)は37.6%、ごみ資源化率は32.7%となりました。前年度と比べて、総資源化率は0.3ポイント、ごみ資源化率は0.2ポイントの減少となりました。

### (3) 最終処分量

最終処分量は5,528tと前年度に比べ5.1% (296t) 減少しました。

内訳を見ると、焼却処理施設からの焼却灰が0.3% (10t) の増加、不燃残さ(不燃ごみなどを破碎選別したもの)が14.4% (306t) の減少となっています。

【注】ごみの資源化の状況を示す総資源化率及びごみ資源化率は、次の算式により求めています。

$$\text{※ごみ資源化率} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量}}{\text{総ごみ量}}$$

$$\text{※総資源化率 (リサイクル率)} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量} + \text{集団回収量}}{\text{総ごみ量} + \text{集団回収量}}$$

(公財)東京市町村自治調査会 協賛事業

# 愛らんどリーグ2013が開催されました



愛らんどリーグ2013が、平成25年8月2日(金)から4日(日)までの3日間、八丈町で開催されました。東京島しょ9町村のうち御蔵島村を除く8町村10島12チームの合計116人の子どもたちが、「サッカー大会」や「島じまん発表会」に参加し交流を深めました。

この愛らんどリーグは、伊豆諸島・小笠原諸島の子どもたちが、サッカー大会を中心として、お互いの理解と親睦を深め合うことを目的に平成6年から毎年開催されており、今年で20回目を迎えました。

初日は八丈町多目的ホール「おじやれ」にて、翌日のサッカー大会予選リーグの組み合わせ抽選会や、島じまん発表会が開催されました。島じまん発表会では、各島の子どもたちによる伝統芸能やユニークな歌・踊りの披露、島の特徴の紹介など、どのチームも思い思いに趣向を凝らした演出があり、大いに盛り上りました。審査の結果、昨年度に続いて、「FC利島 TUBAKID'S」が今年も最優秀賞を獲得しました。

2日目からは、いよいよサッカー大会が始まりました。開会式では、八丈島坂上FCの選手から、はつらつとした声での選手宣誓があり、予選リーグが始まりました。時折強い日差しに照らされる中、一生懸命にボールを追い、ゴールを目指す子どもたちの迫力のあるプレーにコーチや保護者、来賓のみならず、多くの観客からも大きな声援が送られていました。女子の参加も多く、男子に勝るとも劣らないプレーが光っていました。

昨年度同様、JリーグのFC東京のコーチによるサッカー教室も開かれました。子どもたちにとっては、Jリーグチームのコーチから直接指導を受けられる絶好の機会であり、コーチの指導をよく聞いて理解し、グラウンドを駆け回っている姿がとてもすがすがしく思えました。また、今回は、特別ゲストとして、元サッカー日本代表の福西崇史さんも駆けつけ、大会に花を添えました。



▲サッカー大会の様子

3日目は決勝トーナメントが行われました。白熱した試合の結果、開催地の八丈島大賀郷FCが優勝しました。準優勝も八丈島の三根SCが、3位には神津島の神津FCが入りました。

また、プレー以外でも頑張った選手に対して、各チームの監督から贈られる「がんばったで賞」などもあり、子どもたちにとっては思い出深いものとなったのではないでしょうか。

応援にかけつけた保護者や地域の方とのつながり、及び島同士の交流の大切さをあらためて感じさせられた大会でした。今回は残念ながら都合により御蔵島村の子どもたちが参加できませんでしたが、来年度は島しょ9町村の子どもたちが一堂に会してプレーできることを願っています。次回は新島で開催予定です。



▲島じまん大会の様子

**八丈島 大賀郷 FC チーム 優勝 !!**



## 多摩交流センターだより

平成25年度

# 広域的市民ネットワーク 活動支援制度 申請団体募集



(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センターは、  
市町村のワクを越えて行われる  
多摩地域の広域的な市民活動を支援しています。



**環境活動**

**ボランティア  
活動**

**子育て支援**

**高齢者支援**

**障がい者  
支援**

**スポーツ・生涯学習・芸術文化活動**

### ○活動支援制度とは?

活動支援制度は、市民活動を一つの市町村だけではなく、複数の市町村で行う活動をしてみたい、もっと拡充したいとお考えの市民団体の皆さんに対して、その活動(事業)経費の一部(助成対象経費の60%)について30万円を限度に支援するものです。

#### ★活動支援の主要な要件

##### (1) 支援の対象となる団体の主要な要件

- ・多摩地域で広域的な市民活動をしてみたい。または拡充の意向がある団体で、支援の必要があると認められること(既に自立的な活動を継続して行っている団体、当財団の助成制度・支援制度を受けた団体は対象外です)。

##### (2) 支援対象となる主な活動(事業)要件

- ・多摩地域のまちづくりにおける広域的な課題をテーマとしていること。
- ・市民団体が主体的、創造的に取り組む活動(事業)であること。

※上記以外にも要件がございます。詳しい内容はお問い合わせください。

※予算の範囲内での募集になります。

©山岸由季

### お問い合わせ

**(公財)東京市町村自治調査会 事業部企画課**  
**TEL 042 (382)7781 http://www.tama-100.or.jp/**



多摩東京移管120周年

# 多摩の魅力発信プロジェクト

(公財)東京市町村自治調査会・NPO法人全国生涯学習ネットワーク 共催

## 多摩東京移管120周年記念イベント はやぶさ特別講演と映画鑑賞

はやぶさ2のプロジェクトマネージャー國中均氏が語る  
「はやぶさが切り拓いた未来！」

多摩に立地する企業もバックで支え、はやぶさは帰ってきました。はやぶさ2号の計画が進むいま、1号の栄光の軌跡とこれからの宇宙開発について一緒に考えましょう。

- ◇日 時 平成25年11月27日(水)  
午後1時20分(開場 午後1時00分)
- ◇会 場 府中グリーンプラザ けやきホール

**映画上映** 午後1時30分～午後3時46分

### 「はやぶさ 遥かなる帰還」

「絶対にあきらめない」日本の技術力・人間力が世界を変える。 ©2012「はやぶさ遙かなる帰還」制作委員会



**講 演** 午後4時00分～午後5時30分

### 「はやぶさ1号2号による小惑星探査」

講 師 JAXA 教授 國中 均 氏 (工学博士・はやぶさ2プロジェクトマネージャー)

内 容 人工衛星は、ロケットによって勢い(初速度)を付けてもらった後は、惰性で飛行しています。これに対し、「はやぶさ」小惑星探査機は、高性能なイオンエンジンを用いて自ら推力を発生し、動力航行を行う宇宙船です。2003年に地球を出発し、2年後に小惑星イトカワに到着し、科学観測を行いました。そして途中で起こった故障を解決し、2010年に、地球への帰還を成し遂げました。次は、別のタイプの小惑星1999JU3を探査するため、新たに「はやぶさ2号」を開発中です。人類はもっと遠くの宇宙に進出することでしょう。



◎ 入場料 無 料

◎ 申込資格 多摩地域市町村にお住まいの方、通勤、通学している方(小学校高学年以上)

◎ 応募方法 往復はがきに応募者全員の住所、氏名、電話番号、年齢、性別をお書きの上、返信用はがき表面に郵便番号、住所、氏名を記入し下記あてにお送りください。1枚のはがきで2名まで応募できます。  
※ご応募いただいた際の個人情報は本イベント以外には使用いたしません。

◎ 申込期限 平成25年11月3日(日)当日消印有効

◎ 定 員 400名(定員を超えた場合抽選となります。)

◎ 申 込 先 〒183-0056 府中市寿町1-5-1

府中駅北第2庁舎6階

東京市町村自治調査会 多摩交流センター内  
「120周年記念イベント」係

◎ 問 合 せ 多摩交流センター Tel 042-335-0100

インターネット  
放送による

# 多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO 法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催  
後援：武蔵野市教育委員会

10月・11月予定の講座案内



## 116回

**日 時** 10月10日(木)午後2時30分から約1時間  
**題 名** 命の種の物語  
**講 師** 高橋 金一 氏(江戸東京野菜生産農家、小金井市農業委員会長職務代理、小金井市環境基本条例・環境基本計画策定委員)  
**内 容** 経済理論で、農産物生産も効率化がよりいっそう進められている今、種の持つ意味と意義を、生産現場からの視点で報告。TPP問題から遺伝子組み換え食品までの問題を、固定種である江戸東京野菜を通じて環境問題も含め学習していただきます。

- 講座場所: 116回は、多摩交流センター 第2会議室  
117回は、府中グリーンプラザ けやきホール
- サテライト会場: 武蔵野市かたらいの道(10月10日のみ)
- 受講料等: 無料(ただし10月10日のみ資料代100円)

## 117回

**日 時** 11月27日(水) 午後1時20分から午後5時30分  
**題 名** はやぶさが切り拓いた未来!  
**内 容** 映画 「はやぶさ 遥かなる帰還」  
講演 「はやぶさ1号2号による小惑星探査」  
講師 JAXA教授 國中 均 氏  
※詳細は、12ページの募集記事をご覧ください。

- ライブ中継・VOD視聴: 無料(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)  
インターネットで初回からVOD視聴ができます(無料)  
ただし、117回は講演のみの視聴となります。
- 問合せ: TEL 080-3427-9848(高原)  
TEL 0422-52-0908(菅原)



## 特定非営利活動法人 東京雑学大学

### 講義案内

(会員は受講料無料・会員外は 10月10日と11月27日を除き、1回につき 500 円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第908回	10月3日(木) 午後2時から	私の体験した中国の大学教育	渡邊 輿五郎 氏 (中国吉林師範大学名誉教授、元東海大学教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第909回	10月10日(木) 午後2時30分から	命の種の物語	高橋 金一 氏 (江戸東京野菜生産農家、小金井市農業委員会長職務代理)	遠隔視聴(サテライト)会場※ 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 北へ徒歩3分)
第910回	10月17日(木) 午後2時から	教育行政の現状と課題	木村 忍 氏 (元狛江市教育長)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)
第911回	10月24日(木) 午後2時から	食卓の発酵食品 (醤油、納豆、パン、ビールなど)	今井 正武 氏 (ブルックスホールディング顧問、元森永製菓理事)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第912回	11月7日(木) 午後2時から	地球温暖化について	安田 昌弘 氏 ((財)日本気象協会)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 西へ徒歩7分)
第913回	11月14日(木) 午後2時から	老いてこそ頼もしい ユーモアの力:老病死と笑い	小向 敦子 氏 (高千穂大学人間科学部教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 西へ徒歩7分)
第914回	11月21日(木) 午後2時から	空の夢を追いつづけて 飛躍する航空界	平澤 薫 氏 ((株)コーキインターナショナル航空事業部統括取締役副社長)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 西へ徒歩7分)
第915回	11月27日(水) 午後1時20分から	はやぶさ1号2号による 小惑星探査	國中 均 氏 (JAXA教授、はやぶさプロジェクトマネージャー)	府中グリーンプラザ けやきホール (京王線府中駅北口 徒歩1分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください(第915回を除く)。

[詳細問合せ先] 電話: 042-465-3741 (浅田) 0422-52-0908 (菅原)

# TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第95回

## 星めぐりから星の進化へ ～オリオンからカニ星雲までの旅～



【講 師】 山本 安夫 氏

京都大学大学院で物理学を専攻、専門は原子核物理学。都留文科大学初等教育学科にて理科教育に携わり、また法政大学では長年にわたり教養教育科目「原子から宇宙まで」を担当した。現在、八王子の「サイエンスカフェ・オリオン」で活動中。

**【内 容】** 冬の星座と言えば、何と言っても雄大なオリオン座。その巨人オリオンの股あたりに位置するのがオリオン星雲です。それは、星のゆりかごと言われ星が次々に誕生する場所です。また、カニ星雲は星の爆発の残骸と言われています。宇宙の星めぐりの旅をすることは星の進化(星の誕生から死まで)を辿ることになります。私達が生きている物質世界は、星の核融合反応で生まれたエネルギーと、ガスから星へ・星からガスへのサイクルによって蓄積された元素で組み立てられています。オリオン星雲からカニ星雲へ、皆さんと一緒に旅しながら星の進化を考えてみましょう。

日 時 平成25年10月20日（日）午後 2時～4時  
場 所 多摩交流センター会議室  
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階  
(府中市寿町1-5-1)

申込方法 当日会場にお越しください。先着50名までとさせていただきます。  
受 講 料 無料  
問 合 せ 多摩交流センター内 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111

### 多摩交流センターとは



「多摩東京移管百周年記念事業-TAMAらいふ21」の成果を継承し、多摩地域での住民交流の一層の推進を図るため、平成6年7月1日に、東京市町村自治調査会内に多摩交流センターを設置しました。

多摩交流センターは、市民ネットワーク活動の推進と広域的な市民の交流を図るために、次の事業を行っています。

#### 1 広域的な市民ネットワーク活動の支援

多摩地域で広域的な市民活動を行う市民団体へ、「事業助成」や「活動支援」などの支援を行っています。

#### 2 活動と交流の場の提供

登録団体に多摩交流センターの会議室、機器類などを利用提供しています。

#### 3 情報の発信・収集

多摩交流センターが行う事業を「多摩のかけはし」で情報提供してきました。今後は機関紙「ぐるり39」で発信していきます。また、多摩30市町村の広報・資料などを収集し、「TAMAらいふ21」の記録や関連資料とともに市民交流・資料室で公開しています。

#### 4 自主事業・共催事業の実施

「TAMA市民塾」、「多摩の歴史講座」、「TAMAとことん討論会」、「多摩発・遠隔生涯学習講座」などを共催で実施しています。



#### (公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

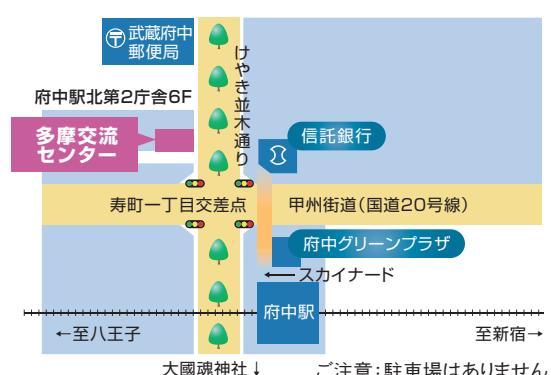
〒183-0056

府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100

FAX 042-335-0127

Eメール tama001@tama-100.or.jp

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>



## 編 集 後 記

- 本号の記事でも紹介している「愛らんどリーグ」。今年は八丈島で開催されたが、これを視察する機会があった。この「愛らんどリーグ」、単なるサッカー大会ではない。サッカー大会に先立って「島じまん発表会」なるものがセットされている。
- 各島の子どもたちが、ステージ上で、歌や踊り、劇などを通じて、思い思いに自分たちの島＝郷土のPRを行うもので、これが、各チームとも上々の出来栄え。どれも相当（ことによると、メインのサッカー以上に？）練習を重ねたのではないかと思わせる。
- 緊張しながらも必死に、セリフを思い出そうとし、あるいは身振り手振りで表現しようとする子どもたちの姿が実際に初々しい。何とも純朴で、まるで「二十四の瞳」を見ているかのような、と言ったら大袈裟であろうか。中には、原子力発電所事故の関係で福島から島に避難してきた子もいて、それでも明るく“自分の島”をアピールしようとしている姿には心打たれた。
- そんなこんなで、この催し、島の子どもたちの交流・親睦を深める機会であるとともに、子どもたちに自分たちの島＝郷土の魅力を再認識させ、郷土愛を育む場としても有効に機能しているのではないか。そう思うと、子どもたちの姿を目の前にして、何か熱く込み上げてくるものがあって、日本の将来に一筋の光が見えるようで、拍手喝采せずにはいられない気持ちになったものである。そして、親御さんや先生方をはじめ関係者の皆様方には、その日頃のご尽力に深く敬意を表する次第である。

- この夏、毎年あきる野で行われている、かつての五日市の「市」を再現した夜の市「ヨルイチ」に興味あって足を運んでみた。地域の活性化を図ろうと、2003年にスタートした催しだ。
- 18時過ぎ、武蔵五日市駅を降りてまず目に飛び込んできたのは、「ヨルイチ」と書かれた真っ赤な布行燈の列。何とも斬新だ。そこから、檜原街道沿いに約1.8kmに渡って、この布行燈とともに様々な「市」がそこかしこに並ぶ。密集感がないのがまたいい。
- 都心と比べると、やはり少し涼しいであろうか。夜風に吹かれながら、そして秋川渓谷の自然を感じながら、夜の闇を彩る昔ながらの街並みをゆったりと歩く。浴衣に身を包んだ女性たち、尺八を吹く虚無僧の一団、人力車などが、これにまた色をそえる。
- 名物の焼きそばやコロッケで空腹を満たせば、冷たいビールが喉の渇きを癒す。何とも言えない心地良さ。「五日市」の魅力を満喫した3時間あまりの「夢の一夜」であった。

前置きがだいぶ長くなりましたが、本号から、当調査会機関紙をリニューアルし、新たに「ぐるり39」としてスタートしました。多摩・島しょ地域の活性化に資するよう、これまで以上に内容の充実に努めていく所存ですので、ぜひともご愛読いただけますよう、よろしくお願ひいたします。  
(K. A)

# とっておき特産物

## 第29回 稲城市



### 稲城の太鼓判

稲城市内の地域資源を活用し、稲城らしさを表現した商品を地域認証ブランド「稲城の太鼓判」として、市内外に発信することで地域の活性化を推進しています。

#### 平成24年度認証商品

- ① 梨けーき ② 稲城ダマント ③ 稲城の梨ワイン
- ④ ブルーベリー餅 ⑤ 稲城の梨シャーベット

### 稲城の梨

稲城で栽培されている梨は、果汁が豊かで果肉が柔らかく食味が良い梨として大変人気があります。特に稲城市で誕生した品種の「稲城」は人気のブランド品種で、やわらかくみずみずしい上品な甘さが特徴です。「稲城の梨」は、平成18年、特許庁から地域ブランドとして商標登録の認定を受けました。



### 高尾ぶどう

「高尾ぶどう」は、東京都農業試験場で「巨峰」から改良された大粒の種なしぶどうです。「高尾山」にちなんで名付けられました。糖度が高くとってもジューシーで、しかも皮がむきやすいと好評です。生産者が手塩にかけて育てた一房500g程のおいしいぶどうをぜひ賞味ください。ご贈答用にもお勧めです。

記事、写真提供：稲城市経済課

☎ 042-378-2111 (代表)

【発行日】平成25年10月1日 【発行】公益財団法人 東京市民生活調査会 【責任者】石井恒利

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>